歐洲御巡遊中の高松宮雨殿下

昨長電子(研究)の

瀉千里で可決

衆議院本會議(廿五日)

第の ・ 日程に入り政府拠出 (鉄正に観点) ・ 日程に入り政府拠出 (鉄正に観点) ・ 日本に入り政府拠出 (鉄正に観点)

報

ばよい脚で太田整御懇歌、色響多一院の谷閣僚は二十四日。 では島野港税のみに当力を注げ るるが一方泣木、安選をはのかに対力を注げるるが一方泣木、安選をはのでは、 音男、 地域法総限長電

滅稅案 通過

本日中に採決困難の場合は

止むを得す會期延長

一十五、六、七の三日間にわたつて連續的に行はれる筈である代理成使も本日購入京してことに全く離解れが搬つた終累、後國公使の法 縄 交渉はい使し整路山の旅行から織りウイルデン構成使し着海して廿四日王州突部長と會見を貸しまた便し整路山の旅行から織りウイルデン構成使し着海して廿四日王州突部長と會見を貸しまた電せ五日登] ジョンソン米の使、オーアンオランダ公使は誠に南京に海磁量であり、ラムア電せ五日登] ジョンソン米の使、オーアンオランダ公使は誠に南京に海磁量であり、ラムア電は五日登] ジョンソン米の使、オーアンオランダ公使は誠に南京に海磁量であり、ラムア

上海租界治廢反對

9

71 開

日五十二月三

推銀の第下で一社民Aとある

行の現金質勵行に都合がよく行の現金質勵行に都合がよく 通給にするさうだから近頃流

ふから二日間連續的に

参議院長は辭退

見るさ自分の絵料を旬給にす 破にのんびり 意見、これで

見るされ 配の神経や徐春の選択 を含なりに持ち扱され

歌がしやうさしてる。 を作って社

時代の智の代の智の代の智のでは、東京出教師ではの智のでは、東京出教師の代の智のでは、東京出教師の代の智のでは、東京出教師の代の智のでは、東京出教師の代の智のでは、東京出教師をは、東京出教師の関係があり、

新任後初上京

佐野軍經理部長

邦人醫者來住を

居留民希望

復興中の鄭州の近況

は高れない

いものであるから政府は凡ゆる勢いても成政府歌の飛延に遊して雙成して戦へるならば會解延」にいても重しく得考慮を願ふさ一時を一つにかいつてある、研究會にいても重しく得考慮を願ふさ一時である。この監修に海考慮ಪ力を に江木、安津、海津谷歌歌覧に遊びたい、なほ参議會の影響につ に江木、安津、海津谷歌歌覧に遊びたい、なほ参議會の影響につ に江木、安津、海津谷歌歌覧に遊びたい、なほ参議會の影響につ に江木、安津、海津谷歌歌覧に遊びたい、なほ参議會の影響につ

はちさ解ない感じがする。

滿鐵社員の つた社員會 作

一二十五日中に類の通過配置と見 ちれる場合は直に閣論を限る場 を対する事に意見の一致を見た をする事に意見の一致を見た をする事に意見の一致を見た く智だが、一がかうとた自分自 代表が脱縁感波をやす我なら標準もごく徹壁に片がつ いふ場合にはいる脱跡 の観測會さか保々の機能ではなからうか?髪社郎選 の観測會さか保々の場

到底その重任には堪への 張景惠長官語る

鐵道交渉打合せに

往復二週間位で大急ぎの旅だ

木村理事ける東上

十四分看列軍にてハルピンより本でのつたが、氏は在長の膨脹名にへのでかが、氏は在長の膨脹名に

界内の法権は総對に放棄すべからずき封張してゐるのでこの問題は致後の一大策監大に變觀し一週間以内に解決するでわらうさ見る、しかし上海における常興人は上海租住上海特別廿五日豊」英米佛和公使さ王正慈氏の財極突淡は今や最後的のものさなつたが支那戦でほ

法權交渉の

人阪帝大費問題

研究反政府系承認か

所総配職に関する態度 モから総内に連合を開 ので、連合を開

らない政府は残骸會無いなが要は一大なからない政府は残骸會無

では着し女政歌語を設めた。 を表を読が今が決するこになり、 大家とでは、一本教をでは、一本教をでは、 一本教をでは、一本教をでは、 一本教をでは、 一本教をできる。 一本教を、 一本教を、

刑事補償法委員會

族院被事補飲総委員會エド前に手 分開會、全會一致原家を可決 と十時三十五分間費と 四十二年法律第二十二 を一金原窓通り可決し た

鐵道交涉

議

草場囑託將校 けふ出發

長か蔵は全部摩釈の教了を見て自出たく大戦国を告ぐるさしても本日夜空に及ぶであらうという。大戦には最近世界を勝了後代謝して政族院の追加改算が秘究その他国要決定勝つを告つべく貴族院を添の陰度如何によっては曾清さつけたが然も政局は帰省後において却つて契付を戒さんさする形勢にある。本日は資本職院さも午前十時代より除食本で政府央黨は政局の危機を集へられ更ら常一張規定り主教の下に昼後まで勝官を押し通して來た職である。所くて膳食は大年十一月十四日首根遊戲のため倉野学を過ぐるまで散院首根代理を起て感戦者闘を戦化た、次で濁り首根の登院後摘首根を手十一月十四日首根遊戲のため倉野学を過ぐるまで散院首根代理を起て感戦者闘を戦化れ、次で濁り首根の登院後摘首根を手一月十四日首根遊戲のため倉野学を過ぐるまで散院首根代理を起て感戦者闘を戦化れ、次で濁り首根の登院後摘首根を

間保改正、產業統制

希望決議附で

可決

一、産業利合法

かーた

支那の財政改革と

日本との關係調査

國際聯盟のソ氏渡日

貴族院本會議(井田田)

サール版大概政争大節平解山林局長ま り長星元太郎氏(同成)より山村 数属さ様業画策につき敷鉱を訊さ した。

が、 かで を方蔵に執り極めて有意義の事さ を方蔵に執り極めて有意義の事さ を方蔵に執り極めて有意義の事さ

四、關稅定率法中改正法律案(同上)

心臓候(破壊)の報告通り

塚本關東長官

來卅日發歸任

日比谷座于秋樂・韓の風ボカボ

安蔵さん、お殿標道の壁が振めぬ 0

世界的に珍しい六胎児が名古屋

一元師さ大将は慰然の国よ。県町一元師さ大将は宅ケ師郎分に根常する のだの糸外は極心平等体紋を際止 に変更を変形は廃止した。だから像 が過過の機道運動差別

してくれていふきではない。









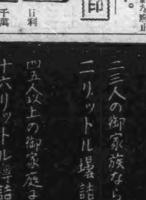




からたものだ。 からたものだ。 からてみやう。 能とてみやう。 でき、一般市民の物般能力は大 でき、一般市民の物般能力は大

0









命生の庭家は所台



開東軍総理都長佐野会輔中粉は標 地に及って上京の途に就いた語る 社任後初めての上京だ、別にこ 社でいる案もないが、來月去、 れている器長會議に出席でかって行 はれる器長會議に出席でかって行 はれる器長會議に出席であった。 地ではないが、來月去、 ではいる。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではないる。 ではない。 ではないる。 ではない。 ではなな。 ではな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 ではなな。

学館、本日午前九時診察の結果左 仙石總裁容體

電天建特権サ五日盤』 歩兵単四十 五職院大院長に柴城した吉岡安直 が佐は栃州が賦を最際中であつた が勝る

単頭事務所海運長技師脚 ・ 本在中代理を命す ・ 不在中代理を命す 準頭車粉所海巡長技師阿根四男吉 单頭車粉所海巡長技師 中川 四郎 旅客與長金事下津森五郎 伊藤 貫

運輸事務を機託す 運輸事務を機託す 運輸事務を機託す を車歩兵中佐 佐伯 文郎 ばいかる丸 二十六二

本村鍛市氏(高鐵理事》 十五川 出帆秀港丸にて夫人同件上京 松隈吉郎氏(清鐵 短託算 が)同上 草写辰巳氏(清緩 短託算 が)同上 章写辰巳氏(清緩 短託り)同上 章写辰巳氏(大連瀕民所長)同上 4 原川良三氏(大連瀕門重役)同上 4 原川度三氏(大連新聞重役)同上 4 原州度三氏(木連新聞重役)同上 4 原州度三氏(木連新聞重役)同上 4 原州度三氏(木砂町)

▲山崎恒四郎氏(遼陽領事)二十東ボテルへ

蛇角

力を吹く

ンプロ失業養成所が又一つ増える。 大阪に部大が又一つ増える。イ

授士の所台はタゲビ

水が水になるき取構する

都面より低い陸地はない

書音機はニュートンが登明した

温が見えて月が見えの夜もある

順油を使って走る汽船もある ドルはイギリスのお金の単位であ

2010乗は210である

制剤大戦にイタリヤはフランスさ

佛教とキチスト教さだけが宗教さ

料書制度はまだ日本に行はたて見

コンクリートは石灰さむさで出来

測氏物語は測氏さ平家さのいくさ

前漢が2條になれば或の機種は8

銀行はお金を置かる所でお金を信

日本の通費開闢は徳川未期のこさ

人造網糸は生糸の層から造る

色の見分けのつかね人もある

動力は電氣にして遠方に送れる

アイヌは弾太に住む土人である

日本は日清戦争の結果関東州を相

ダーウインの連化論は化學に関す

観告の中には信じてならないもの

経験本額は大速からハルビンに至

脱業2さ水業1さの割合で化合す

砂糖は甘蔗以外の物からも澤山さ

主族の目的は犯人を描へるこさだ

5年1700年代を17世紀さ言ふ

(1】正直は成功の基だり」を示ふ

誰がある。併し或人は不正直に

じてるて成功した。従って上の

能はまちがつてゐる。此の判職 は正か否か。その答に〇を書け

答正否

(3)無は暑い所を好み・順は底む

い質を好む。だから熱が南へ行

くさきは腫は北へ行く。この女

草は正か否か。其答に〇を書け

答 正 否

ちうさするさき・いつも自分の 影が有にうつるのを見る。立関 の入目はぎの方向に向いてゐる か。その答に〇を書け。

襲ふ途中逮捕

西の風晴一時曇

一ンス、羽二重和柄ケンチュウ

捧買會開催低廉販賣 大連毛皮貿易合名會社 大連市總後町八番地

人小供服を

掛九九三七話電 核公荥德 PETTURA

談奸銀座在

(ま)私は夕方家に舞って玄関に入

ムラソリニはロシャ人である

飛行機は海戦に不必要である

支那は全貨本位の回である

人生に規模は不必要である

ルイルは冬伸びて夏箱し

市町村は自在開催である

活動実践は有害無益である

整領も液體になる

例は山からもされる

取った

は限らか

倍になる

である

借した

608

わば水になる

間東州は九州より嵌い 夏目漱石は小説家である

3月はいつ628日でわる 呼吸はイギリスが一番盛だ

す所ではない

724

正否

答束向西向南向北向

(4)1キロの肉を焼くには30分を

要し・2キロの内を焼くには45

分・3キロでは1時間・8キロ

では2時間15分・9キロでは2

時間年を要すると暫ふ。15キロ

の例を換くには何時何分間を要

(6)商品は他段を安くすれば。商

品一個の鍵けは減るが●澤山夏

れる。従って値段を安くすれば

する程・全部の儲けばいつも増

えてくる。これは正しいか。誤

つてゐるか答に〇を書け。

答正否

(6)私は郵便周を出て資つ直ぐに 100間歩いた。それから四つ角を右へ曲つて真直ぐに50間歩み・

叉四つ社を右へ曲つて・黄直ぐ

に100間歩いた。そうするさ私は

重便局からいくら隔たった所に

(7)大連から内地へ行ったさき。

時計を1時間なほせさ云はれた

それなら私は進めてよいのか。

おくらせてよいのかっその答に

答進メル・オクラス

(8)「何故一般に都會は田舎に比

べて不健康地であるか」さの間

に對して・甲は「田舍は都會に比

べて人家がまばらであるから」

を答へた。 乙は「都會には田舎 より病人が多いから」さ答へた

丙は「煙中埃ルざの質都會の空

私はひざく汚されて居るから」

るるか。

〇を書け。

車庫に

田市長の決議を掛たので映示通り 日市長の決議を掛たので映示通り 日市長の決議を掛たので映示通り 四月一日から實施する事になつた その内容は移町、桝町、遮倉町 一貫一千四百十八戸が現在月城姿動 元分六原の値下げを宿ひ、梅郷町 中八戸は現在月城突動入百五十四十八戸は現在月城突動

一千五百圓をゆすつて逃亡

長岡貴院議

召喚狀

0

失態

豫審判事の手落と判明し

法相が陳謝

=

月

Ξ

六 和 昭

本後下げすべく社会器に続て顕立

「人間米二十五日費」今期七時十五分人間米二十五日費」今期であり、 小板室より要火し見る間に換え がり、概室の戦科室に移り更に内外 がり、概率の戦科室に移り更に内外 がり、変変の戦科室に移り更に内外 がり、変変の戦科室に移り更に内外 がり、変変の戦科室に移り更に内外

心能館の人々が

殿下のあちょうで

學

第の成績如何と無遺ひなが

ニラメツコ、

いけれて一萬四千面の大節 になってはれ、この極事 はなってはれ、この極事

三蔵(時間三千圓極度)に就ら不一変を続か、昨年末所有タクシー

保險勸誘員も介在か ・ 歌して一手五百個の振舞を受け蔵 に大連に逃走したものである、続 に大連に逃走したものである、続 を吉川氏の放火静跡事常に動き目下 を山墨では大連艦の撮影に割き目下

郷所小規築散地事の召喚版を持ち

情にかっ えの無い事故政府の政治修院課でされつて除した。長陽氏は身に観 知つた丸山棚視線 低し てるるされる

類社員仏樂部大食堂で最表される 一者を除いては遠を天にまかせて一 信能がされたが、晩飯泉一同は霞。 に答案を挟むり大関力で影査を開いて終るを持ちり大関力で影査を開いたが、 はいまかせて一 知

女が城間を小屋の殿の中を臨く楽客を送り出 別して励び込みたづか 市内代見町二十二番をきてるるのに位む のに不動ないだき歌き のに不動ないだき歌き ただまゝ起葉町深出所 んだまゝ起葉町深出所 き小語の施健な ローニング戦紀二級、関弾丸三十 版 大郎氏(Mu)だが 名紙殺人の中二名が控撃された、 優 大郎氏(Mu)だが 名紙殺人の中二名が控撃された、 優 大郎氏は赤波にあり 出 待望久しき

撃動不審の

市行電三〇一五・八六・旧支英米事要特許問宮式手提金庫

10.1

華娼拉致 一部 日は迫る 二十七日より

客を装ひ

精神病者か

毎日の路に をクニックにも

洋服、オーバのクリーニング 及修理、洗はりは

オ ガワ 際温泉館観七四一七番

外套裏表用の電皮類

三根眼科醫院



勞作展で

今年は實力本位で招聘の方針

ま答へた。丁は「田舎の家は一 般に暗くて小さく。建て方も粗 末だから」さ答った。誰の答が 一番適切であるか。それに〇を 甲乙丙丁 (9) 様は5銭で3ッ・梨は20銭で 8 岁買へる。今5000000000次を出し て梅9ツセ梨3ツェを買ったら

いくら的はがもらへるか。 ...錢 (10)こゝは道の四ッ辻である。私 は南から来た。これから町へ行 きたい。右へ行く道は村へ行く のだし・前の道を真直に行けば 野原である。町はざの方向にあ るか。その方向に〇を書け。

(11)私の兄の手紙には「私は昨日 不幸にも四肢(兩手兩足)の1つ を控いすが・八幡部の幕心今日 散歩して来た」 さわつた。此の 手紙によれば兄の挫いたのはご れだらうか。それに〇を書け。 答右足左足右手左手 (12)甲は乙の2倍の橋を持つても

る。両はこの中分を持つてある そとて両は10個である。甲は柿 ないくつ持つてゐるか。

二十三日午後九時ごろ郷天媛内支 ・ 大麻質酸社養強を改略、全品一 ・ 大麻質酸社養強を改略、全品一 ・ 大麻質酸社養強を改略、全品一

强盗逮捕

驛前の客様で

辞泉、二十四日午前九時郷天職前 雅以た野げて都暦の活動を観げた 人強盗事僚につき、超天聖では全

天氣豫就

日 载 (日曜木)

校卒業式

総々来る四月三日製行の本社主催 の第十六回網東州野球大會、清 の第十六回網東州野球大會、清 入洋俱樂部

中心ご も云ふべきカル サインに入るが、家年日本野球形のシ 七月上旬より外来チーム来帝のシ では日本野球別

機々交換中で主なるチームは大 整演展小樂部開保者は祭チーム 整演展小樂部開保者は祭チーム 中海監督及び 一本は大學

一笠町支那料

の强盗

歌舞伎座

職へ議だした証明立てこるる Bをおかまして記述してあたが、強婦の共 奉天城内の

一つたが廿五日出州香港丸にて内地 本天では張學良氏に二度も會ひ 本天では張學良氏に二度も會ひ た、幸ひ學良氏も非常に乗組に なり好いものを出品される事さ なりました全部で約こちらだけ で七十點許り集りました

學良氏も出品 文古今展覧會出記につきま 支那古今展

キュービー マヨネーズ



三七六 店本 九八三電店支

満洲總代理店 前 津 大連市伊勢町五十三番地 電話商 一三六十

4 二千六百四拾本

分下開着初めて見る母園の難しさ ・ 見事職・「代は二十四日午前九時十 ・ 見事職・「代は二十四日午前九時十 志望セ 何故に滿鐵 また、一代の対象能の映像である。 たい一代の対象能の映像を向け出着し 一般し二十五日機京都に向け出着し 一般し二十五日機京都に向け出着し

乳牛代使ひ込みは眞赤な嘘

自白

また超過保険の

三名を出すものさ見られてゐる

市營住宅の

値下

病院焼く

けふ後表さ

小使室で發火

險

金

祚

取

は理伝統設より七分の他下げでの他下げを行ったもので本域で の他下げを行ったもので本域で

神明高女團

||三||

歌校の

消が燃機を戦

海難の中等果被半業生の社就採用 ・大きなの数率で得ばれた、受敵 ・大きなの数率で得ばれた、受敵 ・大きなの数率で得ばれた、受敵 ・大きなの数率で得ばれた、受敵 ・大きなの数率で得ばれた。受敵 ・大きなの数率ではれた。受敵 學校の受験風景をのまるの 滿鐵社員採用試驗 0

更にこれに似た二十の漫画計四十の姿が描かれた一枚の試験用十の姿が描かれた一枚の試験用をからあるのをさがも出して記となのける、小供でも出來ることだが場合が場合が場合だけに背大慌でだが場合が場合だけに背大慌で

博士一

行出發

ア探檢隊の

四

ランス著明

」里驛頭の盛んな見送

通過主要地 ボッフ

北途に た、瞬頭に ルコポロに

泥棒錠づけ

妻女の氣轉で難なく捕はる

出したのではての出場準備が整つ

たしまり各がンズーシの物染例

荷物が楽ませんして

したさころ「ホテルから

は子九百三十一年のマ 歌する盛んな見送があ マルセイユからはマ マルセイユからはマ マル・イルートを正式探 ペイルートを正式探 ペイルートを正式探 ペイルートを正式探

搭載すべきを販売が選ん

を記りこは一萬五千里の長途歌記 ・ へ奏送されたがいづれら沙歌歌 ・ ののでは、 できれたがいづれら沙歌歌の ・ できれたがいづれら沙歌歌の ・ できれたがいづれら沙歌歌の ・ できれたがいづれら沙歌歌の ・ できれたがいがいがいるれたがいがいる。 る、ペイルート蒙正は四月八日頭 するであらうさ 勝つた を慰むべく充分の設備を握してわ

ランクで

船遅れる

ルの失敗

景品引换所

とた話、午前十時香港丸が腫瘍でしたった一人の楽客の爲めに廿五日

版 学初土後を踏み優勝戦を一枚掛け ・ 学初土後を踏み優勝戦を一枚掛け ・ 学初土後を踏み優勝戦を一枚掛け

陸岩

を願ひす

金製の キュースンは微素の短く とかくも単大明大の二大學チーム とが大洋俱樂部が來滿するこすわ せで質力ある態質のチー れて居る配館の大洋仏楽部が東京 に於ける都市野城に田場した

##

ます景品締切りは本年六月三十日までとし以後は無効となつて居りますから至急御申出で方を願ひます遠隔の御方は郵便を以て御送附下さいますれば便宜の方法を以て御送附申上結果左の通り當籤致しました當籤の御方は左記へ當籤領收證御持鑾の上規定の景品御受取た通り本月十五日を以て締切り二十日警察官新聞配者立會の上公正なる抽籤を行ひました昨年十月以來全滿洲に亘り白熱的好評裡に賣出し中のセンロクストーブは當時公表致まし

懸賞當籤番號發表 B

催 主ーシクタ連大

Model S 8.500 c.c.

岡茂次郎本店

をリスーとり十二月まで、

關東州の水産業

打瀬網と風網漁業

鱈漁獲の延繩漁業

0

5

で 1日産目下の情報が形に乗じて植 しないかさいはれ、者しきうなら で 2 一番目下の情報が形に乗じて植

朝鮮向滿

氷錢新館

11量引

香 取安 束 豆 氷

日本 満洲を繼子扱 2 支那と

輸出稅引上と高粱、玉黍蜀稅引上 田村豆信専務の慨歎

なる不利不便の管標調密がな会様。 を含なりすさし、関東殿に跳して、 を整ならすさし、関東殿に跳して、 を整ならすさし、関東殿に跳して、 を整ならすさし、関東殿に跳して、 を変数であった。

中央土地會社

愈立て

し直し

野氏の野氏の

新に就任した重役の

經營方針が見もの

東戦した田村正信戦争は左の城く 北上げに関も側東駅を誤聴会様を 米、高級に對する内地輸入関税の 米、高級に對する内地輸入関税の

東京二十五日妻」 ・ 大百萬国に上り歩の架整紙に二百 大百萬国に上り歩の架整紙に二百 東面の影響器者を響切してあるの 地野金の質上げ、支形が膨とずの 地野金の質上げ、支形が膨とずの 地野金の質上げ、支形が膨とずの の野像が一千九百三十萬国に差し てるるので結局差弱九百三十萬国に差し でもの野海が加を楽した。

九百萬圓增加

銀支店

をないしわれば しても昨年さ同じ

マ…大鹏場を離んで帰患する高層 が取に振り、一参一参慰賞な整 や性耳る金融の大戦腰部総銀谷 や性耳る金融の大戦腰部総銀谷 や性耳る金融の大戦腰部総銀谷 や性耳る金融の大戦腰部総銀谷 を性耳る金融の大戦時間を を対してゐるのが武勢を を対してゐるのが武勢を を対してゐるのが武勢を を対してゐるのが武勢を を対してゐるのが武勢を 或る日の武安支配人

かれ一通り目を通して味味の腰、悪意脈に目を通してはかり、例上には各地の新職、悪意は社よりの電報通信が置い、通信社よりの電報通信が置い、通信社よりの電報通信が置い、通信社よりの電報通信が置いる。 も職つたものですれ を関う中風影者のや でも中風影者のや

な、一向大した安全の需要も世ーな、一向大した安全の需要も世ー いふさ馬鹿ださい。

は久原氏の手牌で前ち女屋さはい 「なでも三百萬元のは に然ても三百萬元のは

右の近く欧州されたと 安取立會 が出日

大豆 (製物 五九二〇 五九三〇 大豆 (製物 五九二〇 五九三〇 大豆 (製物 五九二〇 五九三〇 大豆 (製物 五九二〇 五九三〇 大豆 (製物 五九〇〇 五九三〇 大豆 (製物 五九〇〇 五九三〇 七來高 十車 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 八四〇 日來高 十車 日來高 八四〇 日來高 十車 日本 1000 日本 100

場電報

温泉 の書 安備大引きる。

當市弱促

等相對 青春相對 一三六僧比四分一 青春相對 一三六僧比四分一 未 着

9

:博村大の大醫し剖解を體死の個餘十二 白 上る知を身自々吾ぞれこたれか開は扉の室究研剖解理生や今 きな例類に界世るあ要必きべる見非是は度-

戻税の廢止問題

結局實施を見やう

氏の外久院はこめ氏の執事たる佐

銀の昻騰と撫炭

未だ影響はない

をおいかさはぶまれてある。だら しないかさはぶまれてある。だら 一が関東駅が酸を造物なき搾骸を 一が関東駅が酸を造物なき搾骸を 一が関東駅が酸を造物なき搾骸を ではて其意響に戻さ大連の実際に ではて其意響に戻さ大連の実際に ではて其意響に戻さ大連の実際に ではてまるを整形法を立て特に登録した。

営業者の留意肝要

未だ解決せぬ

取りの影響を想搬せる監問を行民の本月十日以來選與に選勵を持して、動の監察を提びてなると言ばればなら、大した整体に見ない、膨緩性で顕 により整備を としてでけるから 問題であり、 一般 としてでけるから 問題を により が大 で では、 一般 としてでは、 一般 としてでけるから 問題であり、 一般 とこと、 ならば事業を想像するもので、 常然 本には、 一般 として では、 一般 として でけるから であり、 一般 一般 して なら、 一般 として でけるから であり、 一般 一般 ここれに 野球を して として を では できない では 一般 では、 一般 では 賣掛代金の回收は

果樹組合理市

受け、一般的に各品共大 を持ちている時間不動の後を を持ちない。

東三省に旅て外国際かの一手脱野が、その歌組の原政につき灰地であるため、 大型等父子輝公司、大部の東京に際東郷等公司を設立し、その一班の事務を観かるとことは野戦の知くである。 出現の由來話

の既などは一般に飲商だ、一総外一日八九郎に取って機業し、野総

各品大保合

世代 大学、高歌、包米、京都田園では近大学となるに至った十七里で前年の大学を歌曲に大学となるに至った一般時に各記技术を表するに発生の表示に対して変して変して変して変して変した。一般時に各記技・大学、高歌、包米、京都田園では近大学と表示に対して変した。一般時に各記技・大学、高歌、包米、京都田園では近大学と表示にが人類を歌声であるに対映の在後に変した。一般時に各記技・大学、高歌、包米、京都田園での世界であると、高歌、包米、京都田園での世界であると、高歌、包米、京都田園での世界であると、京歌・大学を歌音の一致する所では、京都田園では近大学を表示されている。

大型 (大型) 大型 (大型)

で無機で、之等の減場は終済、七月まで、 で減機される。減場は、一月から一月にか 一日、東南州、東洋島南州及び芝 で減機される。減場は、小平島州、 一日、東南州、東洋島南州及び芝 で減機される。減場は、小平島州、 で減機される。減場は、小平島州、 で減機される。減場は、小平島州、 で減機される。減場は、本日まから一月にか

機能監曳機能を曳機が乗ります。 一般でゆってある。従って報じ、一般でやってある。従って報じ、 一般でやってある。従って報じ、 会日では百役艦さなり、実数もこ、三十夜内外であったが、 最近は、 会日では百役艦さなり、実数もこ。

では日笠場託の表就であっ では日笠場託の表就であっ では日笠場託の表就であっ

◆…その一つは職に要してあるが無いとのであるが無いに要してあるが先づ年一であるが先づ年一に大いを要を要の機関を表する。 ・大いに要を選挙によっては職に要をを機関する。 ・大いにであるが先づ年一にであるが先づ第一にであるが無関をを関する。 ・大いにできるがたづ年一にであるが、たっても、 をないるのであるが、たっては職に要ををできる。 ・大いにできるが、たっては職にできる。 ・大いにできるが、たっては、 ・大いにできるが、たっては、 ・大いにできるが、たっても、 ・大いにできるが、 ・しても、 ・しても、

士十十九 銀銀門并全

雷取安東 氷 饋 新 當緒 場(保合)

安東縣安東株

式

式 一一一一〇〇〇 館价簡值价值 六五四〇八六八 七八〇七四八〇

期後會を開き左記の

参 票 頭 重

票頭重

標金漸

騰で

大

大哈爾安 大爾 大春 奉奉 大學財命 東 代原 嬰天 野天 **錢** 19 編 期期限阻益。

11000000

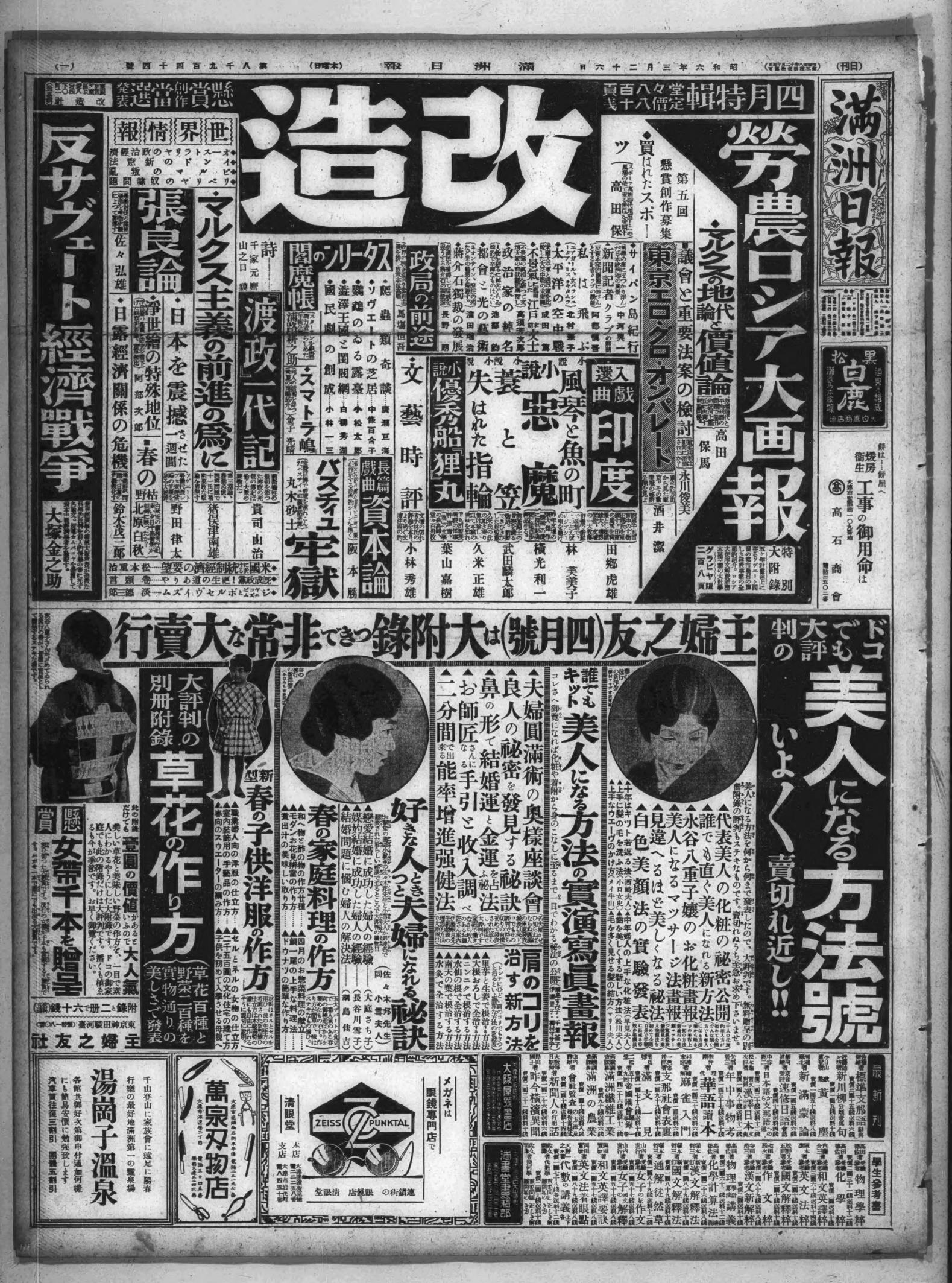
原原 四平街 長春 公主量

●開督監ンポコデ・A・EffEAの・書映奏件響音作特超社P・I・B國英 通演書映派漫浪の演主氏スマト・ンソミヤジ演主嬢イレグ・タルギ・嬢ンオウ・イメ・ナンア

ピなか華心中のンドシロ 支のひ洗皿でのたち落が氣人のルベーメ子踊の處其で人情の 三らか事なん 3

大封五切日 大衆席金五拾錢開放时半•夜六時半

る



解で脱炭が決職定、次いで日決に入り季島及報告通り希望

版正統の説明のため を大殿選案は木濃算に計上すべ を大殿選案は木濃算に計上すべ を大殿選案は木濃算に計上する 如きは奇怪菩様である义本家は 信然交政審議會に開議した上で 相は開議の必要なもさ云はれて 相は開議の必要なもさ云はれて 如きな奇怪芸様である。

版 て対談に及るを宜し且つ手秋季隆 ・ 製(公正)よりこの歴史教歌談り ・ 製(公正)よりこの歴史教歌談り

あり原来可決職が、この時委員員を中御門軽接続(火曜)の報

立興線とた結果であり、後つて五年度の満畿減敏は極拳六年度の政府総入に終戦を及び微金が同社の昭和四年度の決算に惹く救入であるに物はらず五年度管機に供ふ見稼りとたが特について抗秘省では二十五日線武職氏の養職は昭和六年度の政府後襲に批上、面と康真に批上せるは過大見帳りであるさて昭和五年度の政天實織減少せるを指揮、面と康真に批上せるは過大見帳りであるさて昭和五年度の政府後襲に批上、無面と康真に批上せるは過大見帳りであるさて昭和五年度の政府機関に批上。

聚然上租委就長應司信輸公(大

滿鐵五年度減收に

六年度歳入に影響無し

歌時會に映画すべき 奶要な たいてるない で繰返した後東國基州子(研究)

石が氏私は希望決議則除の動議

拓務省答辯書を提出

少數反對を押切

追加豫算を可決

衆議院議員の傍聽席も滿員

貴族院本會議(井田田)

電車 は 1 年後九時會勝二日間 十五日午後九時會勝二日間 上東京廿五日要 3 政府は二

本で、 東京二十五日登 | 民政監は二十年 で 決せる地根法中級正製での際は一年 で 決せる地根法中級正製での際は一度 を 施を整線せらめる特権を設す。 上表に反する主張なりさら数が設める 地域に関う十一時代的では、 場合に依つては服院の際は之に經済度の で 表した。 地域に関う十一時代的では、 のでは、 の

部 書

少の餘器を変して彩の成立を徐つ では記録もあったがこの際一日宛 はリニニ間の奏談をなすよりも最初 の小嫂かな延長をなすよりも最初 はり一二間の奏談をなるとりも最初 は、

名細藍

各大臣副署

大阪帝大問題は通過の見込み立

會期延長詔書

日午後六時半院内に曖昧歌騰を開

曾期延長

の目的

減税案の通過を確實に

より漢口首相の承諾を求めた。

電ごの時質問ありさて 電送線類上票決出来の課であ るが斯A決議の効力で前例如何

大阪帝大の創立費

附帶決議附で可決

貴族院豫算總會(#用用)

與黨幹部會

る事に決定した。 政府は二十五日午後六時の閣議で會期二日間を延長す

の閣議にて

期待し、何加望み得よう。果せ不浄である職會に我等は何か

職會ル否とではない 戦等の政治の唯一なる代表機關 をして我等はこれた意識もし、 社意も表したいのであるが、現 税意も表したいのであるが、現 税の職會には多くの不高さ、そ の功果を疑ひたい親持ちにさへ なる多くの検點がある。 職會浄化の聖が疵んである。 職會浄化の聖が疵んである。 說

関する何らの成果を見なるのは、本職會に於いてるのは、本職會に於いて

神様の問題

滿鐵柔道部へ

大連諸親柔流都に喪味める間 をれはある柔流教師が遺場に それはある柔流教師が遺場に 祭つた神様を拜まね、拜め、さ

満洲へ

議會から

並

君國のため

・虚塚

健康は遭難前に

恢復の自信あり

與黨代議士會で

復口總裁挨拶

的自然がそうさせる。 强ふべき ならば武道の神に下げる。 常識 ならば武道の神に下げる。 常識

要は常職の問題であるのであ

世野酸の修正案に動する討論にさ答へた上、版本男の大阪帝大戦

事にし八時五十二分 で見な述べこの意見にい

留するは水末顧倒である 暗信する財政整緒の際本案を提 はするは水末顧倒である

を投票の何れに依るかを配名投票 ので之を決するため配名投票をなす事になり堂や搬りの紹覧技票をなす事になり堂や搬りの紹覧技票をなるをなる。 1 大・四票、配名投票をなるというできる。 1 大・一票、無配

日間延長

斯波忠三郎男(公正) 単部 製、設備より見ても大阪帝大は 製、設備より見ても大阪帝大は 大や寄附金で設置するものも學 界を降棒するものだ

「東京二十五二登》 減稅委員 减

當てるは田畑租貿

文部豫算,

一本版「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「本記して解離さら海に数点に入り 「本記して解離さら海に数点に対して、これかち、 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数 「東京二十五日数」二十五日の数 「東京二十五日数 「東京二十五日数 「東京二十五日数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日数 「東京二十五日数 「東京二十五日数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京二十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京二十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の本 「東京三十五日の数 「東京三十五日の数 「東京三十五日の本 「東京三十五日の 東京廿五日費 二二 「東京廿五日費 二二 「京京廿五日費 二二 可決 貴院第二

賛否兩論纒らず 小委員會で審議 減稅案と貴院研究

勝利して河南殿徹の理殿地に除る に臨事成立した、今後の森軍の軍 に臨事成立した、今後の森軍の軍 に臨事成立した、今後の森軍の軍 にという。 は中央より支給される響で既に が長がは受けた出で在氏は近日 地加し三十萬個とする地面教を可 決し又本店地樂、各地支店機能費 全の母的社像四百萬個を郵射の機 全の母的社像四百萬個を郵射の機 は悪て取締役會に一任さして之を は悪で取締役會に一任さして之を

出淵大使に

兩中將の進級

整理部隊三千を 黑龍江省に移駐 石友三軍の處置決定

社會事業協會總會

日 満洲社會事業協會では二十七日午 一 際き更に二十八日は舞舎を開き略いる大連氏政器で被取會を 昭 和六年度優賽遊に事業に関するが 多門師團長

な分類が車で来該軍司会部が他の・検揮のため四月十一日午前九時十代挨拶のため四月十一日午前九時十

四月から募集

のに到り。関東州は九州より戦く に到り。関東州は九州より戦く が派職は有害県会等を……さいつ ア人でありレールは冬伸びて夏輪
み、流纖本線はたき。

がよい」と新ニッポンのなばさん がよい」と新ニッポンのなばさんが 人の公氏権災勢ろ散院を通らのが というできませる「練版された婦」 ◆現物後編《級性》 ◆現物後編《級性》 大豆/将物 出來高 六十事 出來高 六十事 出來高 二萬八子板 日 粕 一九八五 一九八〇 出來高 三百箱 出來高 三百箱 出來高 三百箱 出來高 三百箱

各地市況 の三川三、八〇 T.100.00

四六八〇 印刷般 社

上海で高大手は円式である。 東元茂水のし取り三外大手が 東元茂水のし取り三外大手が を引削者奉戦り下押す 上海標金後場 佐佐 佐佐 本九二附五 大九四開三 大八八開六 大八八開六

東公使館殿武前佐藤松和野山町

本日廳報を添ふ

職務を長齢監費ご他に二日間食物 中に加います。 中に四十一分無解解食と同時に 十一時四十一分無解解食と同時に 十一時四十一分無解解食と同時に 十一時四十一分無解解食と同時に 衆議院の 本會議 詔書を捧讀散曾

きのふ日 銀で

川議長 只今演は首相より

| 対本会職を限く留を就し午後十一

り同八時能會したが全部資定まで 特から助役室に田中市長、松井助 特別下谷鵬及泰集、歌聯會を開き を開き を開きまたが全部でである。

豫算查定

大連市中央国資市場は既に田中市

尚兩三日を要す

日午後一時代市後所に田中市長を抵職し一日も早く成就の上市場を が聞じ一日も早く成就の上市場を が聴する處あつた

◆現 物公部) ◆現 物公部) ◆現 物公部) ・ 東斯(第三〇八 ・ 東斯(第三〇八

東北黨部宣誓式

態よけ

る

學行

に
決定

三時四十七分再開水会職で職業業 減稅委員會 平漢線復舊

電報でも完全に全通されて の所漢のサニ日養特急車がサ四日 の所漢のサニ日養特急車がサ四日 の所漢のサニ日養特急車がサ四日

二十八日大連要上京の銀宝であっ 二十八日大連要上京の銀宝であっ たが事務の都合により一時上京な

伍堂理事上京延期

無数化し低落らた

今定期後場(単位は)
今定期後場(単位は)
今定期後場(単位は)
等付高値安値大引
期 近ま中の 更20 ませの ませる 遠瀬 二百字一萬國出來高(遠瀬 二百字一萬國出來高(遠瀬 二百字一萬國出來高(遠瀬 二百字一萬國出來高(鐵瀬 二百字一萬國出來高(鐵瀬 二百字一萬國出來高(鐵湖全 五萬國出來高(銀灣全 五萬國出來高)

衆の修正意見

研究會小委員會で決定

修理工場の周水飛行場の

阿東麻醉今(廿四日附)

の放職は大連において修理され待のか職は大連において修理されたもなが継承大阪以西に修理工

▲石本憲治氏(鴻織は務部文書課 長)二十七日出帆の奉天丸にて 青島から膠漕線軽由南京方面観 察に赴き録途上帯にある家族を ▲三浦森郎氏(内務局長) 海中の所二十五 i 動態任 最中の所二十五 i 動態任

人氣引立ず人氣引立ず、人氣引立ず、人氣引立ず、人氣引立ず、人氣引立ず、人氣引之がる材料もなる。 ○定期後場(銀5) ○定期後場(銀5) ○定期後場(銀5)

二二不二滴數

中日鮮基督 十六日午後 教徒社大照親茶話會を修可由會費 下に中日鮮人基督 大学者の主催の下に中日鮮人基督 大学者の主催の下に中日鮮人基督 大学者の主催の下に中日鮮人基督

鈔票低落

二品引反落

01年10

一、九六〇〇

沢(井五))

市

大引撃り り 一則高で解りに引けた

寒の光楽を撒はうさは離が無難しかくの好きウルトラハイカラのかくの好きウルトラハイカラの

る。何さなれば、國民政府公認の 下に、國概なる整機を甦へられ、 育立の學校まで出來てあるからで 大、今日の短く、光學あららめた 一五他族時代は決して上記なら かな、今日の短く、光學あららめた はれなかった——亦勢 はある。さころで、此の支那式武術 はなからで、此の支那式武術 はなからで

無い名前ではないが――に要へさせる程の英明酸化ぶり、いやそれでころではない、あの支那般のメーポーをキリリことで強にとめくいるさころの馬掛見の、美術要素・一般になって、これないなって、これないないなっ

は解る。その味があって不可

H

窓の競売に外人法官を参加せし、秋事を快に関する線際、契人のみは戦熱間現狀維持さするこ

これは決して際国主義、頻趣泉の 常国主義美いさ云つて「機関」― 常国主義美いさ云つて「機関」― にはいいいのは、 「 の国民政府、国民監の治下に

大大市が登場されたの世界のでは、大大市で、大大市が登場されたのである。大市で、大市が登場された。カペナ市が登場されたのでで歴史には、大市が登場されたので変調を関連するに至って、1 もって、1 もって、

が式がマの油質りの武器に見よ

ない場合は一片の電影を変したものか、過去の概能を変するに至ったそれに對する所致を変したものか、過去の概要はとない。 かまのであるを変したものか、過去の概要は、中心の電影を変したものが、過去のであるが強いない。 中心の電影をないません。 中心の電影をできたが、 一般の電影を表し、 中心の電影をできたが、 一般の電影を表し、 中心の電影をできたが、 一般の電影を表し、 中心の電影を表し、 中心ので、 中のので、 中心ので、 中のので、 中のの

大部式武術されるという。 はも」の太古時代の杵は はもしの大古時代の杵は

6のから、 本とのである。 をから、 本とのでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本ののでは、 本のでは、 本

を有するからで、際にして要を得 、た名機が見つからないからである。 た名機が見つからないからである。 た名機が見つからないからである。 た名機が見つからないからである。

支那のチャン パラ

石

が非常に選歩して居るのさを那職 は五月の国民会議前に目景をつけ 見て、此の交渉は比較的順調に進 見て、此の交渉は比較的順調に進

廢交涉

内以行十五 迎款書投

のれば家飲

漸進主義心放棄 列國も觀念したか

医底に左右せらむるが処き事におなまいき云はれて居たが最近の窓域は非然な動化を見せて居る。 ないて居たが駅近の形 を輸送を容易に支那 といるが城き事はあ

・ すいはれたのでせうか、 ・ 作甲來一物が至二物の家敢 ・ 作甲來一物が至二物の家敢 現在人の作んでゐる資家のこと
さが登表されましたが、あれは

女女女斯合本部通京是 女給

用場三河町電五五五七で生れる 三河町 正直洋行電五五五七番

恩給、來起號、電七六九一次起號、電七六九一

党女 裴 塔橋用 日後町 まかひや地五州三七番 古着 古道具高信買入 古着 貸衣 裳 電話と金融

常陸町 渡邊砌天電六八四一番 不用,是親切本位質受 新古 食銀白金ダイヤ時計高價 電スニニ六番

教育元・拓茂洋行の教育の三山島は

登印に限る 3-0

學 特田順天堂 電三二〇九番 特田順天堂 電三二〇九番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 勝 湖大連二葉町六〇 太郎・電話四六九二番 為堂電話七八五九番 電話四大九二番 電話四六九二番

七三

薬はヒシカワ薬局

すのよ! 粉の新肌色の様な優れ た色味の白粉で自然な 化粧をなさるに限りま

器備常るの用信に共外内・一第康健は福幸の庭家

. し無用作副・ずかつ痕・くなく熱は器本

it性慢点·振不事食·症血貧·痛腰肩·スチマイロ·痛經神·病人婦·病膓胃 症應適

所の大部分であるか、或は関東州は日本の滿洲除外節圏は果して滿 際氷上競技を語る めら

れた自信 岡部

のは、實は次の処き物能なる内容 こゝに支那式チャンパラなる命

0

邦文

市中外

マスタ かびん

放 安長奉

配名 マスター水白粉、特白粉、新配名 マスター水白粉の何れにも 野場 特白粉の何れにも 五百香。大全五十錢。中三十五錢

玉橋保健治療院

備洲總販賣元 賣元 **東及艾共五通間分付金拾** 東 京理學 療院 三圓

方には温法薬

一瓶を進星

景品 定價

水白粉と衿白

粉で白壁の様に塗りつ さることが多いのです がしてトンダ失敗をな すると見醜ひ化粧崩れ ぶしなさるので、 4

ざ見合となると折角の 生々した地肌を白色白 私共へお見へになるお 嬢様方の内にも たい繰談話が進んでい めで

チチ・モ

新見花子述

邪



塵紙

女中 入用本

天帆 島田二阪るお使紙は

|三月一日より|三十一日迄

内部を見たに様な象操がするのは無異の振り方が奇撲だからでせう『メナマ歌』とた飛行機の疑は此の船の殿の織です、此の無異の説明はこれよりありませて大マに向ふ時寫らたものです、共真正確から動た恰似はナマに向ふ時寫らたものです、共真正確から動た恰似は

日

行を四月一日から貨施する事を職

宅地 衛翔金ー翻訳

直田 田

同團結の新機運 不逞 團

搾取對象の疲弊による打開策に 計畫着々として進行

一日 に選頭する事は相互

はない。 ・ はない 農耕地は全部三割 下を斷行 雜地宅地は一割 2

中科学院では大衆の好評を得る自信 同七、十四日 海 をが標意でする程の勝オンパレー を校に於て、 一個八、十五日 奉 をが標意でする程の勝オンパレー を校に於て、 一個八、十五日 奉 をが保証でする程の勝オンパレー を校に於て、 一個八、十五日 本 をでいた。 代金田友文平氏の松野、本業代書をおしている。 少女歌劇來演

のため二十三日來達 民刑事裁判 新城子各派出所管內(成石臺に同十、十七日 蘇宋屯、處石臺 同十一、十八日 女官屯、成石臺 一條家屯心藏俱樂部に於て) 丁安通各派出州管内へ彌生校にル、十六日 帯薫町、末廣町、 民會の豫算

内外の模様を一新 国である又を属長は吹送の結果。 本郎氏第三區長は野遊野島氏が何。 大郎氏第三區長は野遊野島氏が何。 大郎氏第三區長は野遊野島氏が何。

観光團目懸けて

共同販賣所活躍

選場が學校の第二十四回卒業式は 小學校卒業式

安

遼

本であるから定めしが織を焼める。 であらうご期待されて居るからだがに、 一世の特別を焼めるが、 一世の特別を焼めるが、 一世の特別を焼めるが、 一世の特別を焼めるが、 一世ので受責がより、 一世の代表を使めるが、 一世の代表を使めるが、 一世の代表を使めるが、 一世の代表を使めるが、 一世の代表を使めるが、 一世の代表を使る。 一世の代表に、 一世の代表を使る。 一世の代表に、 一世の代表 であらうさ無待されて居る 歌をなりのであるが今年は各方面より 電 であるから定めら対線を戦力の際であるからにあるからにあるの際に

本ペイントからて物管工事かなされ、大上に利用する計畫を掛て目下標をかて目下標をかれて目下標を対して対量を対して対象を対して対象を対している。

報の知くであるが安東輸組は昨年戦疾者を協議を遂げついあるは既

普通校卒

共産黨員檢擧事件で 全滿各地から到着

警察への感謝狀

校生、卒業生の 告解を述べ米準領事

公子、武藤里恙、本冬千代子 健柱君、金鍋貝懺青宏、松田翠、村上信男、平 受賞者▲學術健秀に行方正 吉 まごさ 奉

今春の定期種痘 來四月六日から 奉天署で日割を發表

日 直辖、隅田町各派出所管内(以一度島町、芳野通各派出所管内) 「東連通、千代田通 ・十三日 日青町、加茂町 も脱齢を聴識し之に
とは左記日郷で定期稀痕は 君は中國語、黄君は 、渾河各派出所管内(彌五日・奉天驛、紅梅町、 機代さして何 して又郭

満州替大警院君師 る十九、廿の兩日入 る十九、廿の兩日入 が形成でしたが

おここな聞き直に同様に踏み込み 日時取都総可職順極がに接徹してる ない 一部族館を臨機の結果サ四日午前九一部 り捜 ・前九一般を開催し来来は機関継続を登 ・前九一般を開催し来来は機関継続を登 ・前九一般を開催し来来は機関継続を登 ・行する計画で第一時試滅は二十六 ・日本前十時から第二小學校で開催 ・日本前十時から第二小學校で開催 本の大きのサー日開東・戦闘・大学 (本) 大きのサー日開東・戦闘・大学 (本) 大学 (本) は、 (本) は、

| 一般の | 一

小學校展覽會

原

職品販売者を職能したで表記念成の職日を教室に於てな実記念成

各種カタログ進星網目各種、五間大小

近江絹網合名會社

農事講習開催

公學堂卒業式 時期合からは更に定時機會を開催昭時期のようとのでは、一定に定時機會を開催昭 御めてた

時より保育満了式を摩行した。際原が稚園にては二十四日午前

保育滿了式

昌圖の卒業式

⑤小資本實藥:

廿四日午前十時より大番橋小県校 ★如手町二 軍人上野奥一氏三男 小學校卒業式 大石橋

愛舊會講演會 人類愛奇

方事務所長は影別の賞め同日同地時より本業式を繋行につき川崎地・

ない夕日

医臭硫素は普通税事になったさ 医臭硫素は普通税事長には選想 一三日欧選の結果税事長には選想 が高速前會

会に依り廿五日から総事能を覚ってあったが憲陽者政府からの拠 ら全く作機の荷様であるさ、

◆:議機では流機各地の同社所有 から成ぶ一ケ年間臨時減能質施 するこさになったが意地に於け するこさになったが意地に於け することになったが意地に於け することになったが意地に於け することになったが意地に於け

料金低減運動に對し の被害者は 吐もその一人

九七名女子三七名、高峰科男子六四九名、女子一八名、神智科男子二八名、神智科男子二八名、神智科男子二八四九名、女子六六名を算し卒業後

■る事はごんなものか、一方事に中國側のみへの特殊的便宜をの顧客日、中混合だから近標単 ば前に云った様な

の総山支店長はの中国人職から料

醫大卒業式

龜山滿電支店長語る

ので既に答が賦から多大の期待なので既に答が賦からと、とかも凝奏者は東京音の 以て独へられてるる。因に演奏者

欲生れ住所へ

者た、俗演等は大土圏その他立動部で、 なので身柄は廿四日支那側に引渡し。 をので身柄は廿四日支那側に引渡し。

官 廿四日來奉官 廿四日來奉長心得 廿四日來奉

カン自動車踏破團

運輸事務所長 二十三ツコ公使 同上

ツト・ネトケ・レーヴエ夫人) 初唱 ヘマーガレック氏) ピアノ ヘレオニド・コ ク氏ンピアノヘレオニド・アイオリンヘロパード・ポ ▲大森滿鸚哩事

廿四日朝五龍背

城

は勝天を割られ血みごろこなり乗 ささなつたが加害者は本間がなが できなったが加害者は本間がなが 林(a)が旅館せる一般人を乗せた 中職に然て製坊町原田洋車大橋選 ・ く市内を終三里にも取って起りまではよかったが何のあてども 熊岳城學生聯盟

聖い使命を背頂つて

二十九日に發會式

歩調を描へ進む事さなつたさ

明倫義整修業式

學術研究講演

元川保維氏

商務總會役員

旅順童話研究會 覧には主際語が六名監測師低したには孫宗堂、職権戦が十三名監察

十六日午前十一時から第二回修業 瓦 房 店

小學校卒業式

五名、稼が者三一〇名、鞍別総脈

將來機關雜誌を發行し

廿六日第一回試演會

ガすみ綱

大學本科 第二部(中學四年修了者)出願如限 四月二日 大學本科 (報言) こ(夜) 期限 [乙四月三日 中(電) こ(夜) 期限 [乙四月三日 中(電) こ(夜) 期限 [乙四月三日 帝 孝) 一年 第一名 (本津學科 中(数) 三月十一日 帝 孝) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本) 「本(本) 「本) 立命館商業學校 南第一年一五〇名二、

原路立命館大學

野公演することになった尚大姓評 を博した大レザユー春の踊りオン

り二十六日一日限り整理を取替へり二十六日一日限り整理を取替への熱望によ

芸を廿二、廿三日の帰日常地機関

歌劇團再上演

メイセイ號運搬車 との 個 日本 との

紙でお問合せ下さい

本欄特別廣告一手取扱 大阪高麗福五 昭 大和國生駒郡生駒町谷田

漫井きみ枝

の質敵して子質を得た良法なくわし

く無料でお知らせいたします、お手

永年子質なく、温泉に、服薬に、



= = =

ナイ」

クンダツタラ

日

丸

號

2

ク

(十八)

次

朗

これから精神病が多くなる

日はすらら 野郷のお飯のお庭の

春

葭生

童

謠

かつてるる事であるさ思ひます。 様な際も時々ある事は世人の飯に 様な際も時々ある事は世人の飯に

第一不戦さか、 云ふ機な丁度純粋哀服か、ヒステ 表に現はれて來るさ同様でありま ◇精神病

◇・自分の

野風をがから空から 風吹く風吹く

もなるものであります、然して つかる様な生活をする事が脱髪で とが解釈の態防にもなれば療法に

警師に根談して問いのかもないばかり

では、 ドイツ及ロシャの凡での必然に興ふる事が出来る、 その上谷二萬戸毎に配するに病をの上谷二萬戸毎に配するに病 陸崎、教員の候給まで支援。 ドイツ及ロシャの凡

るかのやうでもある。他は都だ

から始めてヨーロ

ぬ前網

がやってくれるこさになってるまれた。 の午後一時頃に大連娘親院に行け 町修道版大 會商馬太千藤伊 (リア=萬ル教服会)入瓦。百五



の変質を消費組合で費つて母チアスの免疫がは消機衛生研

免疫劑とテスト

大連直置所開設 記念特價提供

工場より御家庭に生産者より消費者に

開設記念のため優良品を精選し徹 三月廿八日より四月三日迄七日間

底的特價提供仕り候

一、紳士服地、婦-毛 ポンド 九十五銭より 一圓二十錢より 一圓二十錢より 圓五十錢より 圓二十錢より 一子供服地 毛

大連 市 信濃町電車停留所前

營業時間

午前九時より午後七時まで

個

1

+

毛織物用マル

虫よけ香錠イン

五十五銭より

满蒙毛織蛛會社 大連直曹

電話長四七 七

(五)

ても滿更ではなさそうな話

のだらうさ琴波院込む「何本こち」 ちへ」さお客様説ひにされて少く、 ちへ」さお客様説ひにされて少く、 を応いまで、必要でさ自分の響。 を取して見掛けではいます」「では」 をにし、鬼母は氏令物遺迹のお仏。 をにし、鬼母は氏令物遺迹のお仏。 で見る、十記く載んだ他概整にお

から東立つてお客様

「婦人職実際統を依然して来い」

經營費に喰はれる 不景氣の美容院

オン・

(日曜木)

標識上の打撃が一寸見ると原因のさか、事業の失敗過度の勉強等の ライブラリ 戦争の代價

収等は損害なもつて興味める飲

□四年の戦争に於いて戦へられた 戦死者の戦は一千百萬人で、之 を時間施に見るさ十三秋毎に一 人宛戮されたことになる、不具 になったもの、戦は一千九百萬 が自分か数さうことてゐる等さ思い自分か数と云って個も無いものが目に対策と云って個も無いものが目に

から戦を変形で立っても別にないですから戦を変形で立っても別に 人であるがそれだけの人動があ

「戦争に動きれた費用は一千歳務 の概に達し、これだけの会があ の概に達し、これだけの会があ いれば五エーカーの土地の上に五

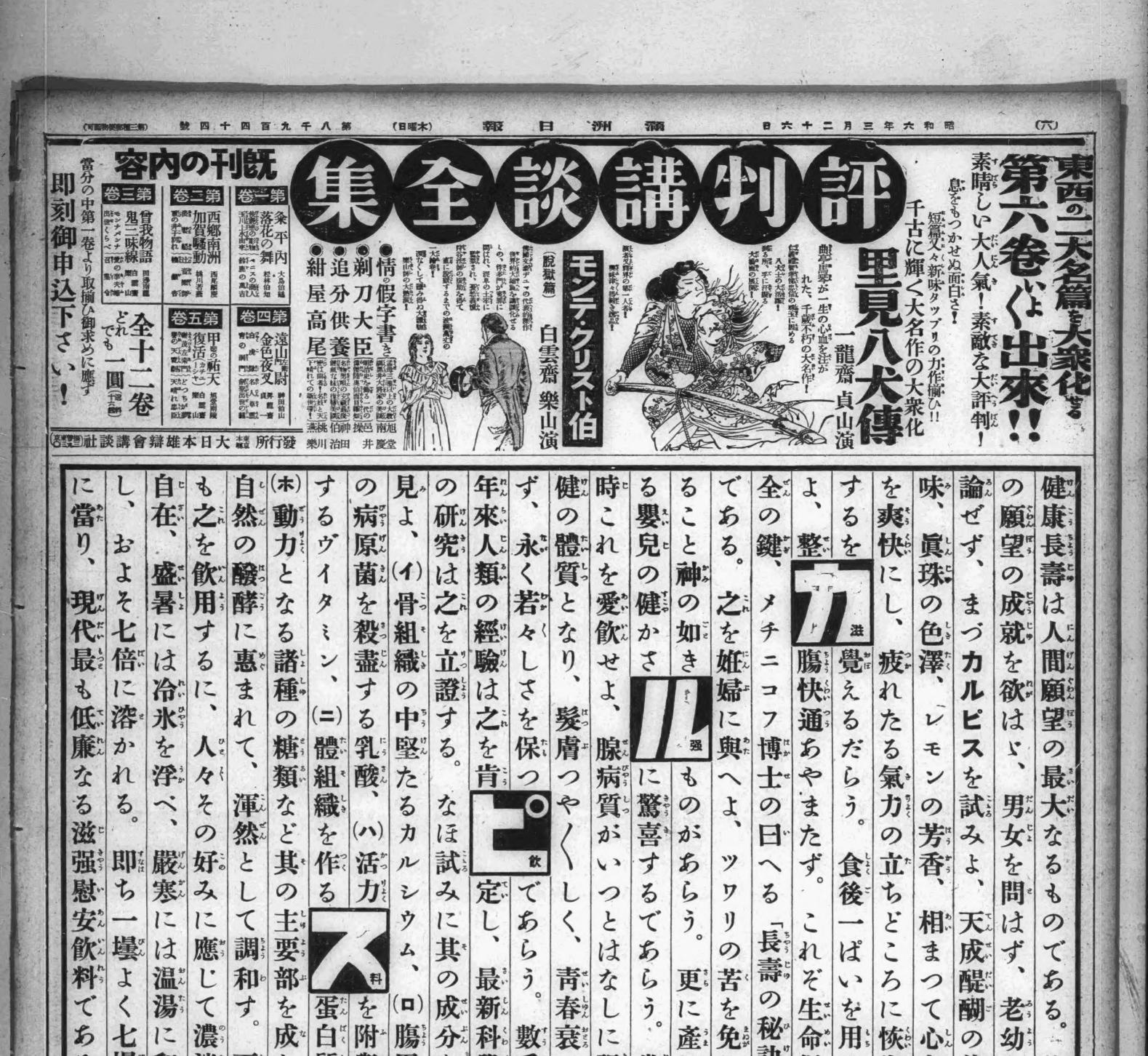
N. C.

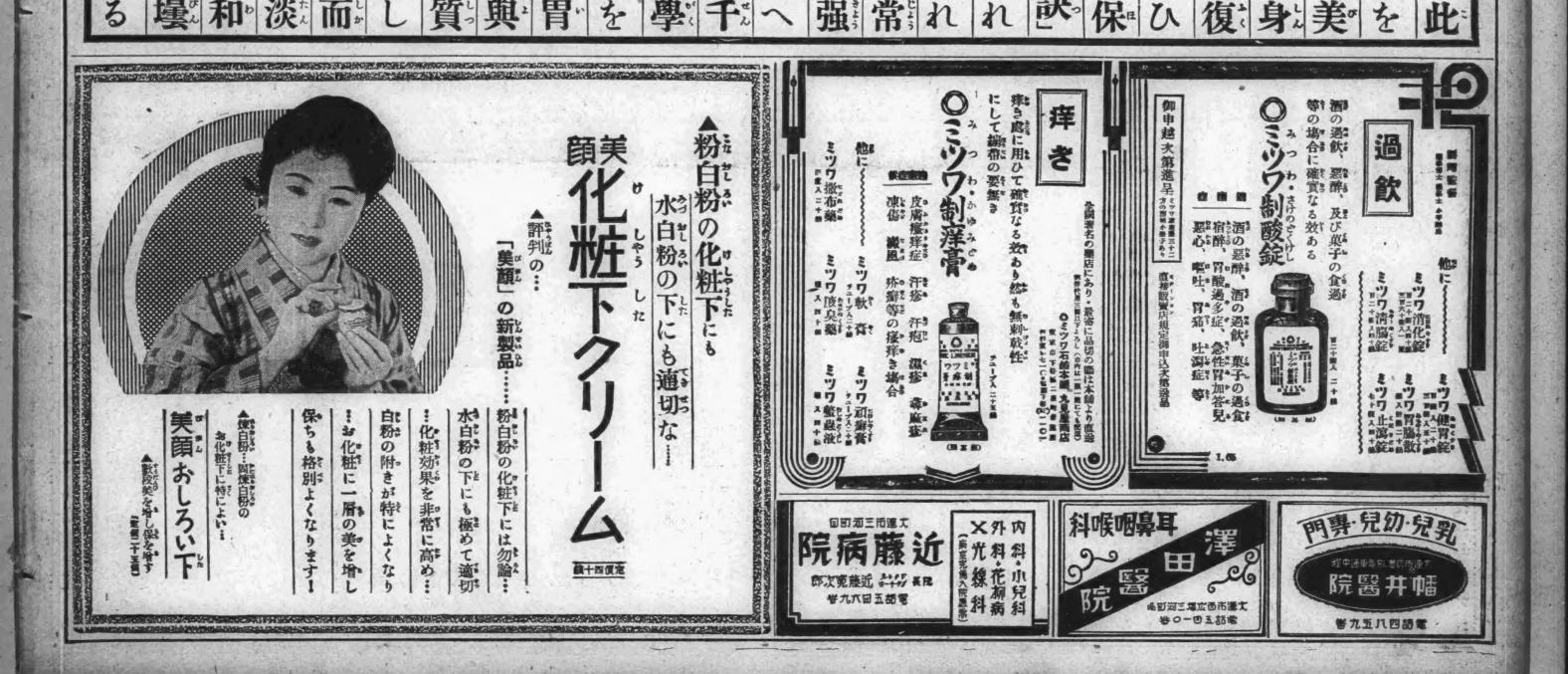
うに五人も南手を使び柳繁の勝

て変素するかの一つですし

があちこちに・

一人の子





が、影響二十四日午後六時第一尺山田 贈をあふって

無をあふつて唇

宮中西衛間で開かれる皇族を語の何編決を続た上、今月三十一日路論になつた久瀬宮邦英王殿下には愈々二十六日午前十時代から野になっている皇族を語の何編決を続た上、今月三十一日

議院議員在低中の課費全額を能

三尾邦三氏は二十五日午前十一

朝融王樣飛機で

がため満洲至道泉の大間壁さなり にかつて離球したことなく、それ の紹果山田六股に

皇族會議御出席

邦英王様臣籍に御降下の爲

學習院に行幸

歳費を寄附

政友會の三尾代議士

三子関中三尾氏は物別職會で千五

追場の禮拜を强ひられ

山田六段遂に辭職

基督教徒で神前に禮をせず

問題となっ

自集智院に行幸的らせられる留 歌る廿八日本家式な野行する目 東京廿四日養」天泉陛下には

動士で久原房之助氏の網 である、氏は和歌山縣選

電響所に続て 関格 で製作は 人格四十

一些郎田

れるものは左

攻圍戰の記念碑

水師營南方に建設

中であるが機能はは状六千個な要

騎兵二聯隊兵

遞信講習所卒業式

せら知お

けふ大連入港

京都第十六師際に代って満洲に駐京都第十六師際に代って満洲に駐

悩ま

目殺·家出·捨兒等、



近く移轉する譚家屯支那人部落

華人を儲け

生命を取止め

一郎於同歷人

折角の観光客を逃がされ

對策が力唱される

張宗

昌家の

門番

、薬屋へ押入

逃げる處を逮捕さる

・ たるとなっています。 たっとは大勢を持げたさころ経験は常ては大勢を持げたさころ経験は常で主人

早苗小學校で實行

に前りもた人物さ認った役内において又家と八里科の方は除りこんな制度をつくりこんな制度をつくりにおいて又家は必要に迫られ他校は必要に迫られ他校 められたものには人物賞を奥へ あが如きこれで、だから教科賞 を質つても人物賞のない者なご を別々の制定によつて賞財を奥へまむた

學科に偏重するのは悪いさて

紐育市政を紊す

便宜を概じてぬる、

松林小學見學團





タマニー・ホールを

出双庖丁

日されて肿る 者の遊戯な像館生活を加つて居る。 たし私館交際をして居たので山田 たし私館交際をして居たので山田 場へない、自分自動も徹底の語みの渦中にまき込まれた事は同様に 下さらんここを新るばかりだ。建はたゞ山田六段が自省されてお選ば、真に遺憾に思ふんですが 友人さして山田君がこの間回 岡部平太氏談

自省を祈

反山田派意見

分は私人さらて信仰生活は山田を青年時代になめた郷職もあり

のが多くなり、後つて職りに来 では北平の整弦で転撃する

THE'

サアビス、

ウッハ、

オザシキ、

トモニ、頂バーセント」

山西會長談

形式的なお辭儀

もう空と俄族に考へて見たいと同般である、公の問題になれば

北平市政府で最近調べたころ のうちでも東ឃ沫機東京飯店内村雪な神器をおけてゐるが、そ

有安县 な他ぶて転型し

能れかった北平

々御引立に預り有難へ御禮申 紫檀細工購買器開業

振替口座大連二九五三番電話 六七四八番

● 高 等 第一部
▼英文學科約四十名、順素締切四月六日
「基督教主義ニョリ人権第一テ目標トエル教育」
「基督教主義ニョリ人権第一テ目標トエル教育」
「基督教主義ニョリ人権第一テ目標トエル教育」
「基督教者」
「基督教者、
「表明者の別と、
「表明初四月六日本 進級及入學の御祝に好適品 完画画

見學團員募集第一艦隊便乘 大連埠頭より便乗 、 新開雜誌記者 千三百名 四八番)に間合はされたとは満洲口報社庶務部(電話五分)同五時廿五分

の 清積は花鉄 る限 に 丸金 (原写表 (原定) 地番七 (四月) 通中 (四月) 連番七 (四月) 通中 (四月) 通中 (四月) 通中 (四月) 通中 (四月) 通信 (極 湖 村 四 生 者)

酒渍

滿 洲 日 報 社

市内乃木町九佐藤麻次がボーイ董市内乃木町九佐藤麻次がボーイ董 市内近江川三三内見吉殿だハッつ る意 関党は七十餘名 関党は七十餘名 神明高女見學團

東行午後六時五分無事臓れの京学順は沿道の風光を質でつ、一時学順は沿道の風光を質でつ、一時

平一郎旅店

ではないかと大連署へ

科見小

北 半

閣 番の一つではいる。

産兒 制限

棚卸勘定に付 日本各地名産. 東京風菓子謹製 本日休業仕 珍 物 九九

押山入れても少なく入れても伸縮が自由ですから貧つた型がトテも素的です 新案學習院型 院醫原相 界各國酒類。食料品 管理以上何程にて 自专四六十五线 打み・挫さと 対云ふときにサロメチール は 関節を挫いたとか、打 迅速に深部の炎症を拭ひ去る 皮下損傷。 第二田邊商店

日畿かた早粉の彫を浴びつ、変性がに、水機器本に銀巻温泉に底の変れを洗がたり。一行は二十五に投札が身校り。単一行は二十五に投入が、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、 異の目を瞠る午後五時山を下り江門とながら火を吹く山の融粉に繋 3 E)

組合文房具、圖書券、共通券各種

一口… 参拾円(蒸月拂込五円) 六四滿了 初面抽録・三月三十五統切・三月二十五 切:三月二十五日

質會を御利用下される可味まで降へられる可味まで 馬住 販 悟 相 日 支 公 司 大連伊勢町(吉野町角)

ᄀ

